

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画

令和元年度事業 点検・評価調書

4-I-2

4-I-2

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセス方法の確認・整備
	節		
事業(施策)名	2 アクセスルートの管理及び整備(国・県道)	事業主体	佐渡地域振興局地域整備部
		関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセスルートの管理及び整備を行うことにより、来訪者の円滑な移動を図る。	
	【事業内容】	○世界遺産登録による来訪者増等に対応した、島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセスルート(国・県道)の管理及び整備を行う。	
R元事業計画と実績	【元年度計画】	<p>島内の国・県道は24路線で約430kmとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●管理について 県管理道路のパトロールは、路線(区間)により平日の日中で、週1～5回実施しており、この他、夜間や休日のパトロールも行う。 パトロールの視点としては、路面状況、安全施設や排水など附属施設の状況確認のほか、落石などに対応するため、法面の変状などにも気を配って実施する。 ●整備について R1年度は、5路線、17箇所においてバイパスや現道の拡幅工事を実施(県単独事業を除く)し、道路利用者の安全性と利便性の向上に努める。 今年度は、佐渡一周線原黒バイパスや松ヶ鼻トンネルが開通予定である。この他、岩谷口橋架替工事の推進や、今年度新規事業化された岩首工区の調査設計等を進め、周遊ルートの機能拡充に努める。 	
	【元年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ●管理・整備ともに計画通り実施。 11/14に原黒バイパス、12/26に松ヶ鼻トンネルがそれぞれ開通し、周遊ルートの拡充に向け一歩前進した。 岩谷口橋架替工事推進、岩首工区の現場着手に向けても引き続き取り組む。 	
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■世界遺産の国内推薦が見込まれるR2年度以降は、観光客の増加が予想されることから、来訪者の円滑な移動を確保するため、道路パトロールを確実に実施し、安全性を確認していく必要がある。 ■現在着手している工事箇所を少しでも早く完成させることで、利便性を高めていく必要がある。 ■工事中や災害時の道路規制情報を的確に発信していく必要がある。 	
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■従来どおり、管理道路のパトロールを確実に実施し、道路利用者の安全確保に努めるとともに、防災上、対策が必要な箇所への対応をすすめ、整備を進めている箇所の早期完成に努める。 ■規制情報を含む分かりやすい道路情報の発信に努める。 	
事業評価	【事業の達成度】	◇従来から県管理道路のパトロールは確実に実施されている。整備については、予算や気象条件などの制約もあるが、概ね計画通り進捗していることからBとする。	
	【事業実施の効果】		
	【総合評価】	[A B · C]	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。